

## 「生かせいのちの森」自然環境保護・保全活動

NPO 法人 奥雲仙の自然を守る会

長崎県

### 【活動の目的】

雲仙天草国立公園の一角地、当会の活動地域内にあります田代原牧場（約 50ha）には、かつて約 150 万本のミヤマキリシマが自生しており、群落を形成して地域の人達の憩いの場として 5 月になると大勢の見物客で賑わっていた。

しかし年月が経ち、牧場管理者の高齢化・後継者不足により維持管理が難しくなってきたことで草本類の繁茂やマツ等の樹木が侵入し群落の消滅が進んでいる。

そこで草刈りや侵入樹木の伐採を行うことにより、ミヤマキリシマ群落を回復させ、ミヤマキリシマの景観を楽しめる場所になるように景観づくりを行う。

[平成 26 年 5 月] 草本類や侵入樹木の繁茂で休憩所から群落は一望できない。

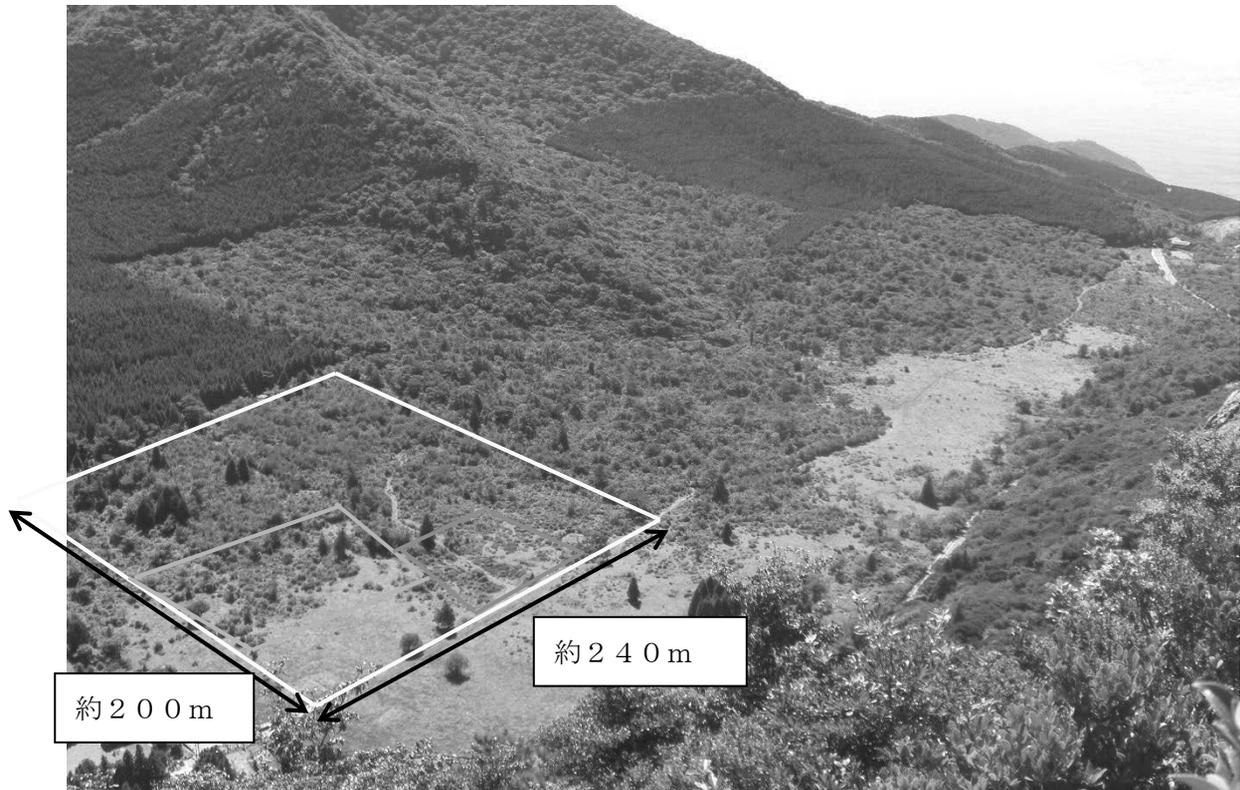


[平成 14 年 5 月] 12 年前は休憩所から群落が一望できた。



【実施場所】

- ・面積が広大なため、ゾーン区分を行い、更に区分して実施。



- 第1次除去区域
- 除去終了区域
- 今回実施した区域

【実施内容】

- ・写真のように、ミヤマキリシマの一株一株が草本類の繁茂や侵入樹木により成長が妨げられているため、それらを除去。

冬場 [除去前]



[除去後]



夏場 [除去前]



[除去後]



※除去するとミヤマキリシマはわずかにあるだけ。  
(3分の2以上が草本類や侵入樹木)

【月別活動】

[平成25年6月～7月]

- ・ 当会会員で草刈りや侵入樹木の伐採
- ・ 延参加者数43名

草刈り等除去作業



侵入樹木伐採



集積



集積



[平成25年8月]

- ・ 当会会員及びボランティア募集での参加者で草刈りと侵入樹木の伐採
- ・ 講師講演「森林について」及び作業内容の指導
- ・ 延参加者数47名

講師講演



作業内容指導



草刈り等除去作業



草刈り等除去作業



[平成25年9月]

- ・会員による草刈り・伐採及び伐採後の集積
- ・延参加者数24名

伐採後



集積



集積



※人力で可能な場所は集積も実施

[平成25年10月]

- ・ 当会会員及びボランティア募集での参加者で草刈りと侵入樹木の伐採
- ・ 講師 講演「アダプト制度について」
- ・ 環境省雲仙自然保護官事務所自然保護官 講演  
「自然公園法と雲仙天草国立公園（雲仙地域）の概要」
- ・ 延参加者数51名

講師講演



講師講演



草刈り等除去作業



草刈り等除去作業



[平成25年11月]

- ・ 当会会員での草刈り及び侵入樹木伐採
- ・ 長崎大学環境科学部フィールドスクール開催  
(長崎大学准教授 講演)
- ・ 環境省雲仙自然保護官事務所自然保護官 講演  
「自然公園法と雲仙天草国立公園(雲仙地域)の概要」
- ・ 延参加者数63名

講師講演



講師講演



草刈り等除去作業



草刈り等除去作業



現場での講師説明



〔平成25年12月～平成26年2月〕

- ・ 当会会員での草刈り及び侵入樹木の伐採
- ・ 延参加者数54名

侵入樹木伐採



侵入樹木伐採



侵入樹木伐採



侵入樹木伐採



- ・ 12月から2月にかけては、例年にないくらいの積雪も何度かある中での作業となった。

[平成26年3月]

- ・ 当会会員での草刈り及び侵入樹木の伐採
- ・ 除去した草本類・侵入樹木の搬出及び破碎
- ・ 延参加者数28名

集積



集積



集積・破碎



集積



破碎



破碎



○当初の計画では活動期間中3回に分けて破碎を行うようにしていたが、草刈り・伐採した草本類や樹木が生のため重く、除去区域の奥の方は人力での搬出は重労働と危険を伴うため、そのまま放置し、枯れた状態にして3月にまとめて重機で搬出及び破碎を実施。

【除去実施前後】

手前の方が侵入樹木除去後、後方が除去前



平成24年5月の状況（実施前）



平成26年5月の状況（実施後）



平成24年5月 (除去前)



平成26年5月 (除去後)



平成24年5月 (除去前)



平成26年5月 (除去後)



【除去の結果】 花の付き方が年々増えている。  
平成24年5月（除去前）



平成25年5月



平成26年5月



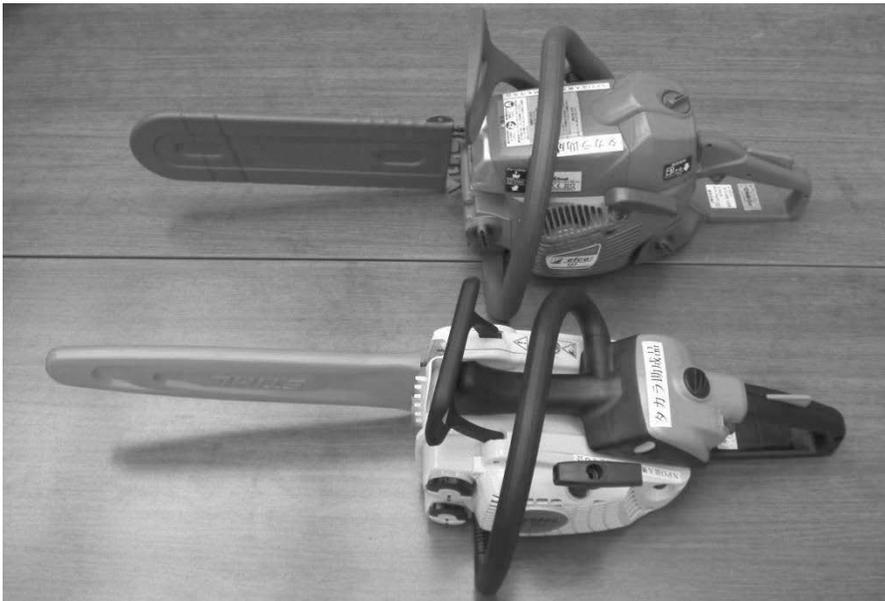
【まとめ】

月 別	実施内容	延参加者数	備 考
6月～7月	・草刈り・樹木の伐採	43名	
8月	・草刈り・樹木の伐採 ・講師講演「森林について」及び作業内容の指導	47名	・ボランティア募集の参加者含む
9月	・草刈り・樹木伐採及び伐採後の集積	24名	
10月	・草刈り・樹木の伐採 ・講師講演「アダプト制度について」 ・環境省雲仙自然保護官事務所講演「自然公園法と雲仙天草国立公園（雲仙地域）の概要」	51名	・ボランティア募集の参加者含む
11月	・草刈り・樹木の伐採 ・長崎大学環境科学部フィールドスクール開催（長崎大学准教授 講演） ・環境省雲仙自然保護官事務所講演「自然公園法と雲仙天草国立公園（雲仙地域）の概要」	63名	・長崎大学学生含む
12月～2月	・草刈り・樹木の伐採	54名	
3月	・草刈り及び樹木の伐採 ・除去した草本類・樹木の搬出及び破碎	28名	（4日間）

- 自然環境保護・保全活動の延参加者数は、合計310名。
- P-02 記載している範囲の草本類・侵入樹木の除去を実施。
- P-11・12 写真の比較で、草本類・侵入樹木の繁茂状況が分かる。
- P-13 年々花の付き方が違い、特に侵入樹木を除去すると日当たりも良くなり、ミヤマキリシマの勢いが旺盛になったことが分かる。
- 来年は、今回実施した区域のミヤマキリシマの成長が期待できる。
- 活動に参加の長崎大学環境科学部は、平成26年度も引き続き活動に参加していただき、年3回のフィールドスクールを開催し、保護・保全活動やワークショップ等を実施する。また、奥雲仙を卒業論文にも取り上げてもらうことになった。
- 今回の活動を通して、一株一株に絡まっている草本類・侵入樹木の除去を地道に根気よく続けることが重要であることが結果としてでた。

【購入備品】

- ・チェーンソー 2台
- ・刈払い鎌 2本
- ・鎌 2本
- ・鉋 2本



※当初の備品購入は、チェーンソー2台、刈払い鎌5丁、鉋2丁でしたが、草本類・侵入樹木の繁茂状況から、チェーンソー2台、刈払い鎌（造林鎌2丁・厚鎌1丁・薄鎌1丁）、鉋2本）に変更して購入。

